

手のひら写真立て

親子で楽しむものづくり **9**

手のひらを型取った写真立て。
写真だけでなく、いまの瞬間をカタチとしても残せます。
親子で子どもの成長を感じてみてはいかがでしょうか。



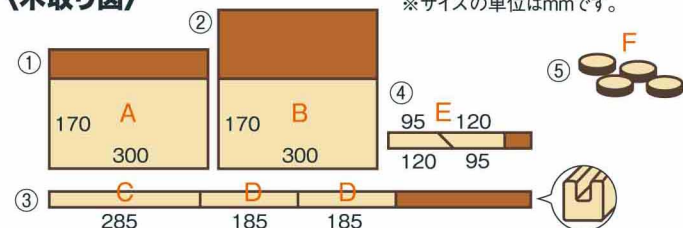
〈使用する道具〉

●のこぎり ●糸のこ ●紙やすり400番 ●タッカー ●ドリル ●ハケ

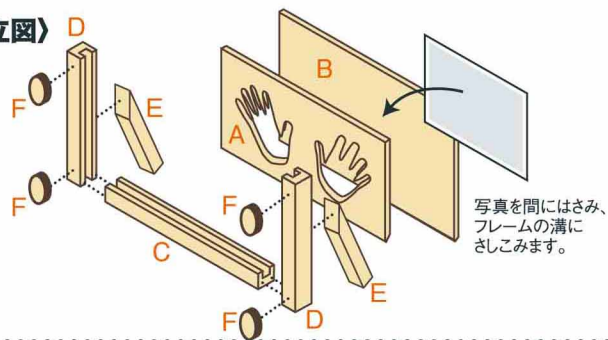
〈材料〉

①シナベニヤ300×225×3mm ②ラワンベニヤ 300×300×2.3mm
③溝付角材 約910×6mm ④ウッドパーツ角 270×25×25mm
⑤雑木輪切 ⑥速乾ニス ⑦木工用速乾ボンド

〈木取り図〉



〈組立図〉



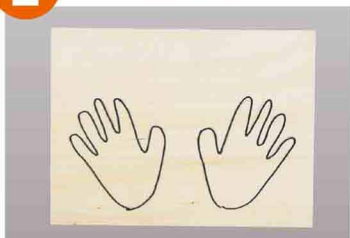
【作り方】

1 材料の準備



材料を用意します。今回は飾りに雑木輪切を使用しています。

2 手の型を取る



シナベニヤ板に鉛筆で直接手型を写し描いていきます。

3 ベニヤのカット



シナベニヤ(表板)とラワンベニヤ(裏板)を同じ大きさでカットします。

4 手型をくりぬく



ドリルで穴をあけてから電動糸のこ盤又は糸のこやジグソーなどを使って手の型をくりぬきます。切り口を400番の紙やすりできれいに仕上げましょう。

5 溝付角材のカット



溝付角材は直角になるようにていねいに切断します。

6 組み立てます



きれいに直角で接着します。接着箇所の補強に裏側はタッカーでとめます。

7 脚の取り付け



脚をフレームの上から5cmぐらいのところからボンドで取り付けます。左右のがたつきが出ないように調節して取り付けてください。

8 写真を入れて完成



仕上げにニスを塗ってかざりを付けて完成です。輪切の飾りはフレーム接着箇所の補強にもなります。しっかりボンド付けをしましょう。溝の中まではニスを塗らなくても良いです。